

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 33  
2018・2・17

1 2018年有機一食品世界見本市の開催 (2018・2・14)

一有機市場がさらに成長・有機農業の将来戦略が効果を一

ニュルンベルグにおける今年の有機フェア（有機産物世界見本市）の開幕は、有機分野における良い報告である：有機はもはや”隙間”産物ではない。有機は主流になった。有機産物の市場は、この8年間連続して成長している。そして同時に、農業者の収入の可能性にもなっている。2017年の有機産物の売り上げは、初めて100億ユーロ（約1兆3000億円）以上になった。

そして私的需要に対する有機の割合もまた、上昇傾向を示している。それは2017年の暫定的な分析によると、5,2%弱となっている。特に乳製品は、有機市場に対して良好に定着している。ここでは、ヨーグルトの6,4%から牛乳の27%以上まで、売上げ増加となっている。全有機一牛乳と乳製品の殆どが、デスカウントショップとスーパーで、より多くの棚のスペースを埋めている。その中で農業における1つの進展もまた、反映している。多くの牛乳経営は、有機経営部門に転換している。慣行農業に比較して高い牛乳価格と、有機牛乳に関する良好な販売環境から利益を得ている。

有機農業の将来戦略：2018年中間状況 有機農業一食料経済は、さらなる成長の刺激を得ている。なぜならば、連邦食料・農業省が2017年2月に有機農業の将来戦略を、公表したからである。これは、連邦省が2015年以来、有機分野と共同で作成してきたものである。周知のように将来戦略の中心点に、5つの取組み分野を据えている。それはより強い成長のための国内の鍵となる分野を確認し、そして有機分野の中心的な挑戦に向けるために。

それは既に幾つかの取組み分野において、最初の成果を示している。例えば、次の選定された取組みが挙げられる。これはドイツ連邦農業省としての、有機展示会一ドイツのより多くの有機一の開催行事である。中間状況報告の中で提供されているように、将来戦略有機一農業の具体化である。

取組み領域 1 : ” 法的大枠条件が将来を目指す” そして首尾一貫して具体化 :

- ◎ 連邦食料・農業省は、E Uー有機規則の改正を重要事項として取組み、そしてチューネン研究所の研究成果を基礎に、空気清浄化保持のための、技術的マニュアルの作成についてさらに参画していく。
  
- ◎ ドイツでの蛋白作物戦略の領域におけるマメ科作物の利用と栽培の改善、拡大のための発展計画ー研究並びにモデル的なデモンストレーション・ネットワークの奨励 (2017 年 10 月 連邦広報 NO20/17/31 で公表)

取組み領域 4 : 有機農業システムの効率性の改善

- ◎ 持続的な農業の多様な形態と、有機農業連邦プログラムの領域における ” 有機農業の栄養素マネジメントの最適化” のための、研究ー発展計画並びに実践ー研究ネットワークの奨励 (2017 年 9 月 14 日 連邦広報 NO18/17/31)
  
- ◎ 連邦食料・農業省 持続可能な農業の多様な形態の領域におけるブドウベト病に対する特別な配慮のもとに、有機栽培におけるブドウの健康保持のための対策に関する研究ー発展計画の奨励 (連邦広報 NO19/17/31 で公表)

取組み領域 5 : 環境寄与を適切に評価

- ◎ 経営のためのチューネン専門研究所について、現在連邦農業省の奨励でもって、環境と社会のための有機農業の効果の分析を導入している。

5つの取組み分野とそしてそれに付随する政策に際して、比類なき行動プログラムの領域において、有機農業の目指す拡大考慮している。有機農業の将来戦略は、有機農業ー食料経済のための大枠条件を、継続的に最適化すべくコントロールプロセスとして理解されている。

## 2 農村の健康地域に関する重要な礎石ープロジェクト NeaWis

(2018・9・8)

プロジェクト NeaWis は、196 000 ユーロ (約 2 548 万円) の奨励金額を含んでいる。今日金曜日に連邦大臣シュミットは、プロジェクト NeaWis の奨励決定書を手渡した。このインターネット基盤は、Neustadt 郡にある Aisch-Bad Windheim の介護ー支援の必要な人々と、その家族のための扶養システムである。連邦大臣シュミットは、これを説明した : 私は、この奨励でもってこの健康地域に、重要な礎石をおくことが出来たことを喜んでいる。

この地域において若者、高齢者のため農村での生活が、魅力的に維持されるという、農村地域に関する我々の配慮が生かされる。進展している人口変動のため、高齢者に関してまさに健康意識の増大が重要である。我々の共通目的は、さらに他地域でのモデル計画の拡大である。

## 背景

このインターネット基盤は、連邦プログラム・農村の発展（BULE）によって、約 196 000 ユーロを含んでいる。この連邦プログラムは、農村地域の前進のために、モデルデモンストレーション計画、コンクールそしてコミュニケーションの政策を1つにまとめている。プロジェクトパートナーとして適用される知見の係る大学の協力は、特に点検リスト一覧表、そして人的な組織化をアシスタントする高齢者そしてその家族によって、プロジェクト” NeaWis” を支援している。

プロジェクト期間は、2018年1月1日から2020年6月30日までである。このプログラムは自由に利用でき、そして継続的に更新される。他の農村地域にも情報提供され、それでもってモデル性を有している。

2018・2・17 訳

青森中央学院大学

中川 一徹